

Let's みんなで「のうみんの道」!!!

名城大学附属高等学校 総合学科 坪倉衣里 阿部桜子

◎国のあるべき姿

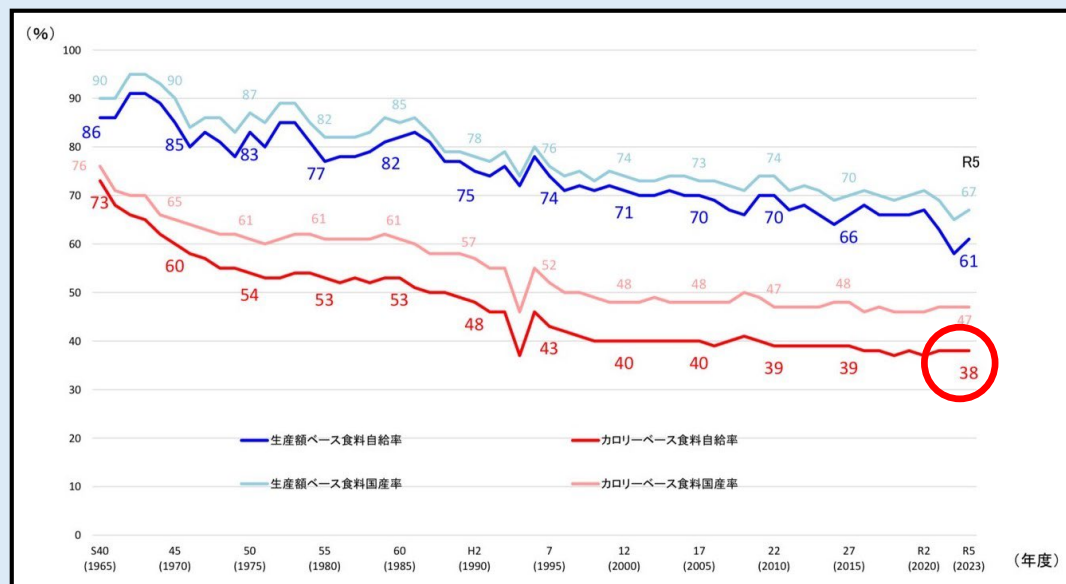
→他国に頼らず食料を国内で賄うことができるほどの生産性

しかし!



日本の食料自給率は **38%**

先進国の中で最低水準 ↑



(引用) 農林水産省：食料自給率の長期的推移

→ 現在世界人口は急速に増加しているため地球規模で食糧不足。

食料自給率が低いと食糧不足が世界で多発したとき生き残ることができない

現在の農業における問題

○耕作放棄地の増加 (資料1)

○農家の人手不足 (資料2)

○農家の高齢化 (資料3)

生産性に大きく
関係する

問題解決には...

●積極的なスマート農業の導入

⇒日本は小規模の農家が多いため高い機械の投資回収が難しい

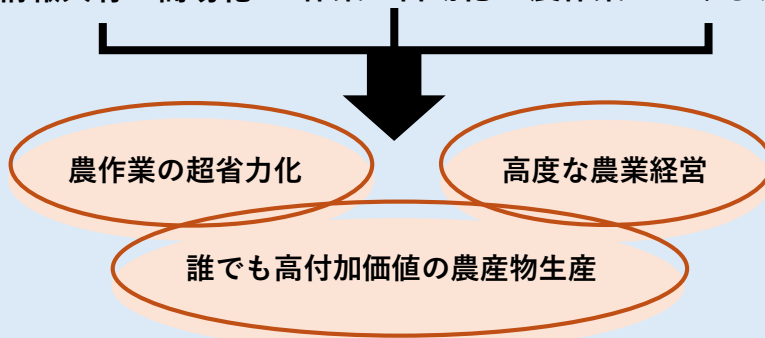
★農業における労働人口を増やす

➡ 若者の興味を引き、農業について知ってもらうことが最優先

スマート農業

ロボットやAI,IoTといった最先端技術を駆使した農業

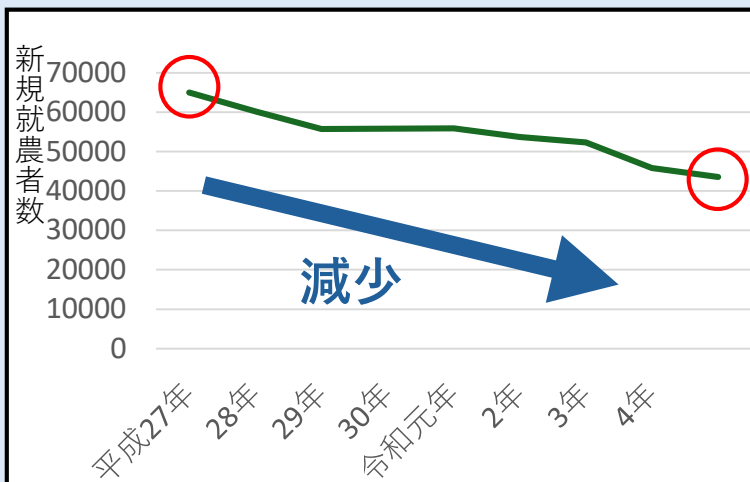
情報共有の簡易化 作業の自動化 農作業におけるデータ活用



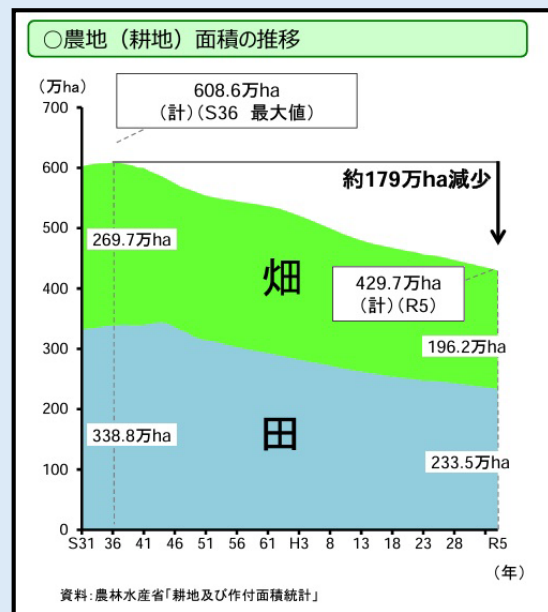
オランダも活用

農産物・食料品の
輸出額は世界2位

農協の方への聞き取りメモ
名古屋市緑区ではほとんどの方が56歳以上となっている。また、会社を退職されて農家になられた方が30代、40代、50代それぞれ一人ずついる。(資料3)



(資料2) (参考) 農林水産省統計部：新規就農者調査



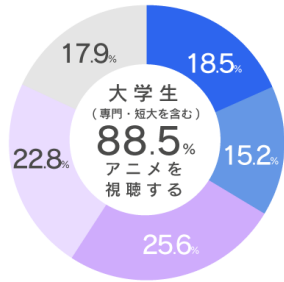
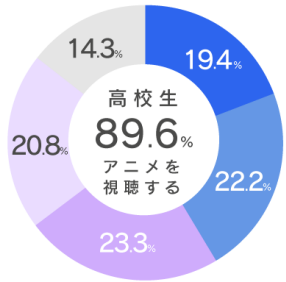
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

(資料1) (引用) Spaceship Earth耕作放棄地とは？現状や問題とされる理由、解決策も

アニメで若者の興味関心をひくことを提案します

アニメ視聴率と視聴頻度

TesTee Lab.



■毎日 ■週5~6日ほど ■週3~4日ほど ■週1~2日ほど ■それ以下

Testee(テストティー)調べ : <https://www.testee.co>

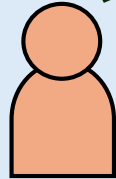
現在アニメは日本の若者の関心を引く娯楽の一つです！

昔は「アニメは子供が見るもの」、「アニメ好きは現実から逃げている」といわれることがありましたが、今ではその考えは古いと言えるでしょう。実際アニメは**高校生、大学生どちらも90%近くの人が見ている**という調査結果があります。また、日本の今の若者にとって、アニメは日常の娯楽で非常に近い存在です。アニメから**流行の言葉や音楽、もの**などが生まれるのも珍しくありません。そのため、若者も興味を引くにはアニメが有効であると考えます。



化学がテーマのアニメを見て、化学が苦手だったけど化学に興味を持つことができた。

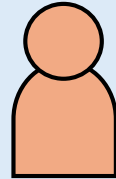
そして！



バレーボールのアニメを好きになりバレーボールを始めた。



国を擬人化したを見て推しの国ができた。さらにその国の言語を学ぶようになり、その国に移住した。



昔の日本が舞台のアニメで有名な偉人を自然に覚えた。

私たちはアニメ『のうみんの道』を考えました！！

『のうみんの道』

【農民部部員】



一米の尊さ永久なり

こめぬまみつば
米沼三葉

農業ヲタクな活発な女の子。ちょっと強引なところもあるが人を惹きつける魅力がある。農業についてはすごく物知りだが勉強は苦手。趣味は家庭菜園とその野菜を料理をすること。好物は白米。高校1年生。



一きゅうりは一本漬けが一番うまかね？

うりたこうき
瓜田胡雨季

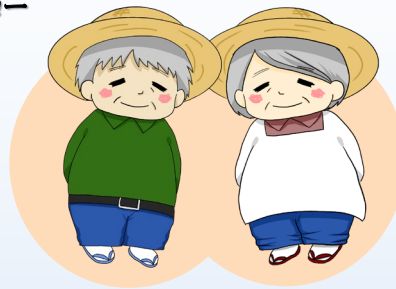
米沼の幼馴染。面倒見がよく兄気質。頭はそこそこよく高校は家が近かったから選んだ。運動神経がよく、部活の助っ人をよく頼まれる。米沼のことが好き。一応モテる。高校1年生。



一ほうれん草と小松菜って兄弟みたいだね

ほうれんそうか
鳳蓮奏華

天然でおっとりした性格。だれ一人怒っているところを見たことがない。家はかなりのお金持ちでたまに同世代の話題についていけないときがある。とても賢いが少し抜けているところがある。高校1年生。



じいじ&ばあば



一うわああアザミウマ！
かわいいいよおー

たまき
玉葱ねぎ

昆虫が大好きなちょっと暗めな男の子。米沼とはヲタク友達で、農業と昆虫でわかりあえるそうなのだ。米沼と話していると瓜田がめっちゃ見えてきて怖い。そのあと笑顔で話しかけてくるのも怖い。高校一年生。



一私が野菜を嫌いなんじゃなくて
野菜が私を嫌ってるんだ！

やぎらいち
野木荔枝

野菜全般が嫌いな女の子。いつもツンツンしているけど素直じゃないだけ。体操服は高校で身長が伸びると母を説得して大きいサイズを買ってもらったが入学時から身長はミリも変わっていない。高校2年生。

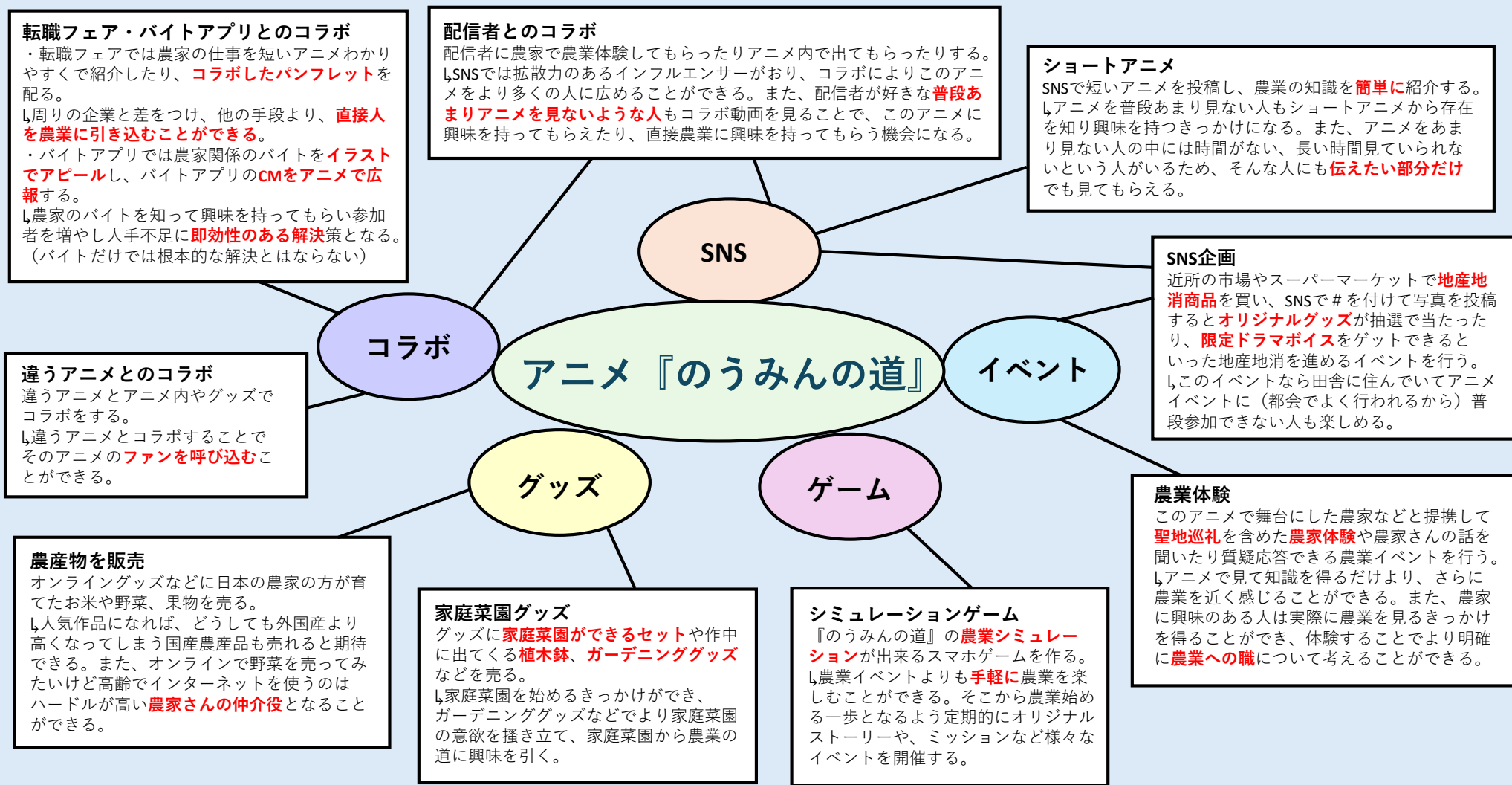
その他の登場人物

農民部のメンバー以外に顧問の先生、近所の農家、米沼の祖父母、農協の方なども登場する。また、近くの幼稚園で農業について楽しくお話ししたり、芋ほりのお手伝いをする回もあるので、幼稚園の子供や先生。他にも、回によってさまざまな地域の人が出てくるため、農業による人の繋がりを感じることができる。

あらすじ

主人公の米沼は、祖父母が米農家でお米が大好き。高校では農業に関する部活に入りたかったが、そのような部活はなかった。でもあきらめきれなかった米沼は瓜田とともに部活をつくることにした。そして一緒に活動する仲間を見つけ学校で様々な野菜を楽しく育てたり、近所の農家に行ってお手伝いをしたり知識を学んだりする。農業の知識(スマート農業などの農業技術や他国の有名な農産品や県や地域の特産品について)などは農家の人以外に米沼がヲタク語りといったように話し、一話ごとに様々な知識を得ることができる。また、部活だけに限らず普段の高校生活も見せることでよりキャラたちに親近感が持て、農業をしてみたいと思わせる。

このアニメを通し、若者に農業は楽しいものという考え方や、現在の農業についての情報を広めることで、農業に興味を引き、労働人口の増加を望む



アニメから様々な手段でより多くの人に農業・農家について広め、興味を引くことが出来る